

103-234

問題文

1. インフルエンザウイルスはガーゼマスクの網目を容易に通過できる大きさであるが、その着用により飛沫の拡散を防ぐことができる。
2. インフルエンザは空気感染するので、手指を塩化ベンザルコニウム溶液で消毒しても予防できない。
3. 新型インフルエンザウイルスは、毎年流行する季節性のウイルスとは抗原性が大きく異なり、ほとんどのヒトは抗体を持っていない。
4. 高病原性鳥インフルエンザのH5N1型及びH7N9型は、いずれも感染症法*では二類感染症に分類されている。
5. 新型インフルエンザの感染者は、感染症法*で原則入院と定められている。

*感染症法：感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律

解答

問234：2, 5問235：2

解説

問234

選択肢 1 ですが

アスピリンは原則インフルエンザ患者に投与しない薬剤です。インフルエンザが流行している時期であり適切ではありません。よって、選択肢 1 は誤りです。

選択肢 2 は、正しい記述です。

選択肢 3 ですが

半年前の症状とは異なるかもしれません。体重の変化もあります。本人への処方とはいえ不適切と考えられます。よって、選択肢 3 は誤りです。

選択肢 4 ですが

風邪による筋肉痛の原因は、筋肉の損傷といった外因性ではありません。従って貼付剤では効果が期待できません。よって、選択肢 4 は誤りです。

選択肢 5 は、正しい記述です。

以上より、正解は 2,5 です。

問235

選択肢 1,3,4,5 は、正しい記述です。

選択肢 2 ですが

インフルエンザが空気感染するというのは、言い切ることには疑問のある表現となっています。閉鎖性が高い環境といった限定的環境ではありえます。選択肢 2 は誤りと考えられます。

以上より、また、厚労省の発表によれば、正解は 2 です。